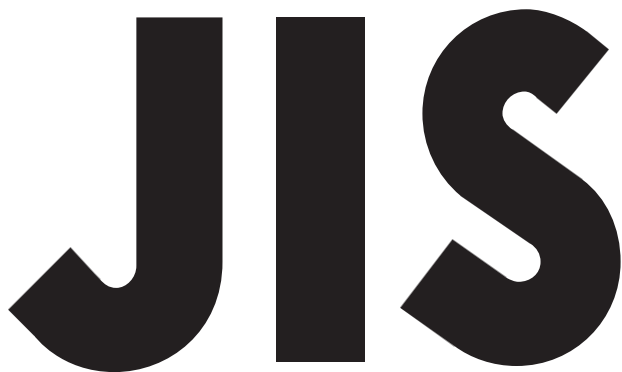




ゴム用カーボンブラックー基本特性ー

第 1 部：よう素吸着量の求め方

JIS K 6217-1：2026

(JSA)

令和 8 年 8 月 20 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 化学分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	国 岡 正 雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	上 島 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会
	栢 英 則	日本プラスチック工業連盟
	川 本 伸 司	一般社団法人日本ゴム工業会
	永 田 淳	一般社団法人日本分析機器工業会
	福 井 祥 文	一般社団法人日本化学工業協会
	鎗 恵 介	公益社団法人自動車技術会 (UD トラックス株式会社)
	百 武 健一郎	一般財団法人化学物質評価研究機構

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 13.11.20 改正：令和 8.8.20

担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課

(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 8.8.20

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti)

素 案 作 成 者：一般社団法人日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル)

審 議 委 員 会：化学分野産業標準作成委員会 (委員長 国岡 正雄)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 器具及び装置	2
6 試薬	3
7 溶液の調製	4
8 溶液の標定	6
9 試験手順	8
10 試験結果のまとめ方	9
11 SRB による確認	9
12 精度	10
13 試験報告書	10
附属書 A (参考) 精度	11
附属書 B (参考) 試薬の CAS 番号	13
参考文献	13
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	14
解 説	16

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 6217-1:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS K 6217 規格群（ゴム用カーボンブラック—基本特性）は、次に示す部で構成する。

JIS K 6217-1 第 1 部：よう素吸着量の求め方

JIS K 6217-2 第 2 部：比表面積の求め方—窒素吸着法—単点法

JIS K 6217-3 第 3 部：比表面積の求め方—CTAB 吸着法

JIS K 6217-4 第 4 部：オイル吸収量の求め方（圧縮試料を含む）

JIS K 6217-5 第 5 部：比着色力の求め方

JIS K 6217-6 第 6 部：ディスク遠心光沈降法による凝集体分布の求め方

JIS K 6217-7 第 7 部：ゴム配合物—多点法窒素比表面積（NSA）及び統計的厚さ比表面積（STSA）の求め方

ゴム用カーボンブラック—基本特性—

第 1 部：よう素吸着量の求め方

Carbon black for rubber industry—Fundamental characteristics— Part 1: Determination of iodine adsorption number

序文

この規格は、2016 年に第 5 版として発行された **ISO 1304** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、ゴム用配合剤として用いるカーボンブラック（以下、カーボンブラックという。）の基本特性のうち、よう素吸着量の求め方について、次の二つの滴定方法を規定する。

- **A 法**：ビュレット及び指示薬としてでんぷんを用いる滴定法
- **B 法**：自動滴定装置による電位差滴定法

紛争が生じた場合は、**B 法**（電位差滴定法）が優先される。

警告 この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

注記 1 よう素吸着量はカーボンブラックの表面積と相関関係にあり、一般的に窒素吸着比表面積と一致する。しかし、揮発分及び溶媒で抽出可能な物質を多く含むと、よう素吸着量は著しく低下する。そのため、よう素吸着量は常にカーボンブラックの比表面積の指標となるわけではない。また、カーボンブラックの熱履歴も、よう素吸着量に影響を及ぼす。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1304:2016, Rubber compounding ingredients—Carbon black—Determination of iodine adsorption number (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項